

自由論題 8「中国の政治と社会」・報告 3

報告テーマ

社区居民委員会の従属性と非従属性：断片化された党・政府・社区居民委員会のつながり
“Obedience and Disobedience of Resident Committees: A Fragmented Network among Party, Government, and Resident Committee”

氏名(所属)

橋本 誠浩(東北大学・院)

要旨(800字程度)

改革開放政策の展開にともない、中国の都市社会では、格差が広がり社会的弱者の間で不満が増大した。また、新たに発生した利益をめぐって住民間の対立が深刻化した。これらは、都市社会の不安定要因となっている。

こうした不安定要因は、中国共産党の単一支配体制の基礎を揺るがしかねない。そこで、同党は、都市の社区居民委員会を通じて、統治の再編を進めてきた。

先行研究を概観する限り、これらの試みは一定程度成功しているように見える。社区居民委員会は、政府や党とつながることによって、都市住民に対して一定の利益を分配することができ、同時に、住民に含まれる党員とともに、一般住民を管理・監視することもできる。社区居民委員会が政府や党組織との一体化の度合いを増したことにより、共産党政権の社会管理能力は間違いなく補強された。

しかし、社区居民委員会が「政府化、党組織化」することは、共産党政権の基層社会に対するガバナンスの強靱化を意味するのか。それは、基層レベルでかえって統治リスクの拡大を招くのではないか。本稿では、社区居民委員会、地方政府、中国共産党の3者間の関係について、杭州市J社区居民委員会で行った現地調査に基づき、この疑問に答える。

人事過程(選挙)の観察を通じて明らかになったのは、政府や党が社区に対する影響力を拡大している一方で、党・政府・社区居民委員会の間で「断片化」と呼ぶことができる現象が発生していたことである。

社区居民委員会は、その人事や予算の権限を握る地方政府から高い評価をもらうために投票率(業績)の偽装を行っていた。また、興味深いことに、この偽装を成功させたのは、地元の党幹部、社区の党組織、党員ボランティアから成る共産党の人的ネットワークであった。そして、党のネットワークもまた断片化していると考えられる。

社区居民委員会が業務を遂行するうえで大きく依存する党員ボランティアは、単に上からの指示や共産党の政策への共感に基づいて行動しておらず、区内の公共設備の優先的利用といった利益の追求も重要な動機となっている。基層の団体や党員は、上からの指示に基づいて動いているように見えて、実は多分に独自の論理に基づき自発的、自律的に動いているのだ。

以上のような現地調査の結果を踏まえ、本稿では、共産党政権による都市ガバナンスの再編が、社区・政府・党の断片化を促進しているという結論を示した。